

まちづくり研究会発足

中央道四車線化、E電乗り入れ等に加え、山梨リニア実験線の建設が進む都留市は、「郡内の都留市」から「首都圏の都留市」になると言っても過言ではありません。

近い将来には、多種多用の民間開発、公共事業の実施が予想されます。それらを適正に規制・誘導するには、しっかりした指針が必要となります。

そこで、市では将来にわたっての理想的なまちづくりを目指した「都市整備基本計画」の策定に、昨年度から着手しています。これは、道路、公園、土地利用、各種施設の根本的な整備の見直しを図る計画が盛り込まれ、来る「リニア時代」にも対応できるまちづくりのための指針となります。

市民参加のまちづくり

しかし、この計画には、第一に市民の皆さんが何を望んでいるのかを知り、皆さんの意見を反映させることが大切です。

そこで、市民参加のまちづくり

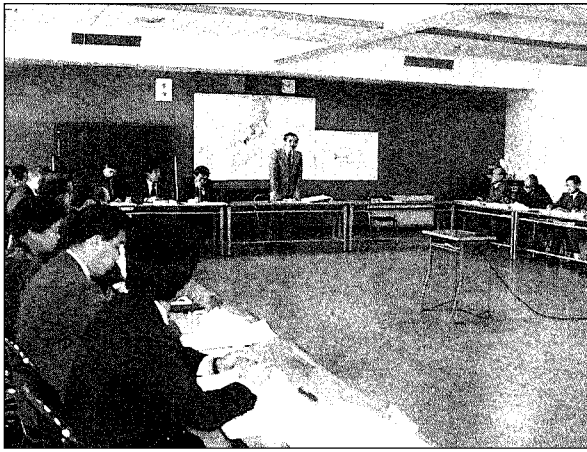
のため、市内有職者、市議会、関係団体、市民代表など三十九名で構成する「まちづくり研究会」を発足させ、十一月四日には第一回研究会が開かれました。

この日は、委嘱状交付式のあと、会長、副会長の選出があり、会長に都留文科大岩見良太郎教授、副会長に都留市新しいまちづくり推進協議会の会長を務めた磯武さんが選出されました。

行政と住民が一体となり策定するこの計画は、最終的に都留市の都市計画に関する基本方針となり、都留市で定める都市計画はこれに即したものになっていきます。

今後、内容については広報でお知らせしますが、詳しく知りたい方、まちづくりについての意見がある方は、ご連絡ください。

都市計画課都市計画係



子どもたちが防火パレード 宝保育所

宝保育所幼年消防クラブの子どもたちが、秋の火災予防運動週間の11月12日、防火パレードを行いました。

子どもたちは「お父さん、たばこの火、気をつけて」、「お母さん、天ぶらの火、気をつけて」と元気な声で防火を呼びかけました。

また、長年にわたる防火啓発活動が認められ、10月23日には、三重県伊勢市で行われた『第十四回幼年消防全国大会』の席上、日本防火協会(笹川良一会長)から宝保育所に鼓笛隊セットが贈られました。

この日は、宝地域コミュニティセンター前で、真っ赤なおそろいのユニフォームを身にまとった子どもたちが、演奏を披露し、盛んな拍手を浴びていました。



食欲の秋を満喫 農業祭り開催

11月3日、毎年市民の皆さんに親しまれている『農業祭り』が開かれました。

会場となった都留市農協会館には、市内外から大勢の人が訪れ、新鮮な野菜を買い求める人々で賑わいました。



第一回増田誠賞公募展入選者授賞式

11月17日ふるさと会館で、『第一回増田誠賞公募展』の大賞・入選・佳作の29名に賞状・楯等が都倉市長、横山教育長より一人ひとりに手渡されました。その後作品展が開催されている展示ホールで、記念撮影を行いました。

なお、11月号で発表した受賞者名に誤りがありましたので訂正し、お詫びいたします。

小林浩美→小林浩実・長田英加→長田美加・郷田裕明→郷田裕昭

また、小学生の部入選者が三名掲載されませんでしたので改めてお知らせいたします。

白川麻美・菊地星子・小俣真弓

